

資 料

1. 新市の概況

(1) 位置と地勢

新市は、島根県の東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。

出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

日本海に面する島根半島の北及び西岸は、リアス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有しています。



(2) 面積

新市は東西約30 km、南北約30 kmの範囲に広がり、面積は543.4 km²で全県面積の8.1%を占めています。地目別では、宅地7.9%、田・畑25.6%、山林62.7%、その他(原野含む)3.8%となっています。

(3) 人口と世帯

新市の人口は微増傾向で推移しており、平成12年国勢調査によると146,960人です。また、世帯数は45,469世帯で増加を続けていますが、核家族化の進行により1世帯当たりの人員は減少しています。

人口・世帯数の推移（国勢調査）

年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
人口（人）	145,937	146,201	146,210	146,960
変化率（%）	2.4	0.2	0.0	0.5
一般世帯数（世帯）	39,019	40,121	42,178	45,469
1世帯当たり人員（人）	3.74	3.64	3.47	3.23

年齢別の構成比を見ると、14歳以下の年少人口は、15.6%、15歳から64歳までの生産年齢人口は62.0%、65歳以上の高齢者人口は、22.4%となっています。少子、高齢化が進行している様子がうかがえます。

年齢別人口（3区分）

国勢調査	総数	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	（人）	（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）
平成7年	146,210	24,915	17.0	92,859	63.6	28,436	19.4
平成12年	146,960	22,891	15.6	91,152	62.0	32,917	22.4

（4）産業・経済

総生産

新市の総生産額は4,217億円（平成12年）で、島根県総生産額（2兆5,279億円）の16.7%を占めています。産業別では、第1次産業85億円、第2次産業1,129億円、第3次産業3,135億円で、第3次産業が全体の74%を占めており、島根県全体とほぼ同じような傾向にあります。

市町村内総生産

	新 市						全 県					
	平成2年		平成7年		平成12年		平成2年		平成7年		平成12年	
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%
総生産	3,351	100	3,977	100	4,217	100	20,640	100	22,952	100	25,279	100
対全県比(%)	16.2		17.3		16.7							
第1次産業	136	4	127	3	85	2	1,004	5	828	4	608	2
第2次産業	1,100	33	1,248	31	1,129	27	6,679	32	6,899	30	6,920	27
第3次産業	2,221	66	2,727	69	3,135	74	13,607	66	15,945	70	18,545	73
帰属利子等	106	-3	125	-3	132	-3	650	-3	720	-4	794	-2

資料：県統計課「しまねの市町村民経済計算」

農林水産業

新市の農家数は、平成13年で7,886戸、農業就業人口は8,849人となっており、農業産出額は、115.1億円で島根県全体（660.4億円）の17%を占めています。農産物では米が全体の34%を占め、次いで果実が19%を占めています。特にぶどうの生産が盛んであり、果実生産額は、島根県の果実生産額の56%を占めています。

一方、新市の林野面積は平成12年現在で35,431ha（蓄積量629万m³）、林家数は3,323戸、特用林産物生産量は2,412トンとなっています。

新市の漁業経営体数は、平成13年現在で333と、島根県全体の13%を占めていますが、漁獲量は2,908トンで島根県全体(97,144トン)の3%を占めるに止まっています。漁法としては、釣、はえ縄が過半数を占め、漁獲魚種では、ブリ類が最も多く、イカ、アジ、カレイ、タイ、トビウオなどが多くを占めています。

農業統計

	平成2年			平成7年			平成12年			平成13年		
	農家数(戸)	農業就業人口(人)	農業産出額(億円)	農家数(戸)	農業就業人口(人)	農業産出額(億円)	農家数(戸)	農業就業人口(人)	農業産出額(億円)	農家数(戸)	農業就業人口(人)	農業産出額(億円)
新市 (対全県比)	9,548 (16%)	13,060 (16%)	172.6 (19%)	8,690 (16%)	11,338 (16%)	163.5 (20%)	8,016 (16%)	8,992 (18%)	127.5 (19%)	7,886 (16%)	8,849 (18%)	115.1 (17%)
全県	59,674	79,611	921.6	54,651	70,141	826.5	49,480	51,293	684.8	48,680	50,470	660.4

資料：中国四国農政局島根統計情報事務所「島根農林水産統計年報」

漁業統計

	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成13年	
	経営体数	漁獲量(t)	経営体数	漁獲量(t)	経営体数	漁獲量(t)	経営体数	漁獲量(t)	経営体数	漁獲量(t)
新市 (対全県比)	636 (15%)	5,670 (1%)	569 (14%)	6,362 (2%)	495 (15%)	3,346 (1%)	357 (13%)	2,987 (2%)	333 (13%)	2,908 (3%)
全県	4,237	378,889	3,985	371,810	3,253	250,949	2,723	140,977	2,643	97,144

資料：中国四国農政局島根統計情報事務所「島根農林水産統計年報」

商工業

新市の商店数(卸売業、小売業)は平成11年現在で2,774店、その従業者数は14,173人、年間商品販売額は3,482億円で島根県全体(1兆8,691億円)の19%を占めています。

一方、製造業事業所は平成13年現在で392事業所、その従業者数は9,152人、製造品出荷額は1,248億円で、島根県全体(10,650億円)の12%を占めています。

商業統計(卸売業・小売業)

	平成3年			平成6年			平成9年			平成11年		
	商店数(店)	従業者数(人)	年間商品販売額(億円)	商店数(店)	従業者数(人)	年間商品販売額(億円)	商店数(店)	従業者数(人)	年間商品販売額(億円)	商店数(店)	従業者数(人)	年間商品販売額(億円)
新市 (対全県比)	3,028 (19%)	13,496 (20%)	3,351 (17%)	2,744 (19%)	13,404 (20%)	3,199 (17%)	2,655 (20%)	13,176 (20%)	3,382 (17%)	2,774 (20%)	14,173 (20%)	3,482 (19%)
全県	15,823	68,069	19,452	14,344	67,380	18,725	13,612	65,581	20,188	13,993	69,388	18,691

資料：県統計課「商業統計調査結果報告書」

工業統計(従業者4人以上の事業所)

	平成2年			平成7年			平成12年			平成13年		
	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(億円)	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(億円)	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(億円)	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(億円)
新市 (対全県比)	563 (21%)	14,290 (21%)	1,708 (18%)	493 (21%)	12,402 (20%)	1,646 (16%)	423 (21%)	9,799 (19%)	1,340 (11%)	392 (20%)	9,152 (18%)	1,248 (12%)
全県	2,662	68,344	9,683	2,346	60,551	10,500	2,063	52,692	12,263	1,920	49,955	10,650

資料：県統計課「工業統計調査結果報告書」

観光

新市の観光入り込み客数は平成14年現在で約689万人と、島根県全体(2,523万人)の27%を占めています。

観光入込み数

	平成 2 年			平成 7 年			平成 12 年			平成 14 年		
	総 数	県外客	県内客	総 数	県外客	県内客	総 数	県外客	県内客	総 数	県外客	県内客
新市(万人) (対全県比)	496 (28%)	162 (25%)	333 (29%)	492 (26%)	154 (23%)	337 (28%)	669 (26%)	272 (25%)	397 (26%)	689 (27%)	285 (27%)	404 (27%)
全県(万人)	1,799	641	1,159	1,903	684	1,219	2,596	1,077	1,518	2,523	1,053	1,470

資料：県観光振興課「島根県観光動態調査結果表」

また、多様化する観光ニーズに対応し、温泉施設、宿泊施設、資料館など数多くの観光集客施設が近年整備され、観光入り込み客数は、7～14年の7年間で約4割増加しています。

(5) 道路交通・通信

新市の道路総延長は 2,542 k m で、改良率や舗装率などの整備状況は県平均を下回っています。また、公共交通では、バス利用者の減少が続く中、より利便性の高いバス路線の整備が図られつつあります。

一方、情報通信については、有線放送やCATVを利用した高速インターネット網の整備とともに、行政のワンストップサービスを目指した電子自治体の構築など高度情報通信社会へ対応するためのインフラ整備が進みつつあります。

道路整備状況

平成 14 年 4 月 1 日現在

	総 数			国 道 計			県 道 計			市 道 計		
	実延長 (km)	改良率 (%)	舗装率 (%)	実延長 (km)	改良率 (%)	舗装率 (%)	実延長 (km)	改良率 (%)	舗装率 (%)	実延長 (km)	改良率 (%)	舗装率 (%)
新 市	2,542	48.9	77.2	92	98.9	100.0	261	67.4	99.2	2,188	44.6	73.7
全 県	17,533	52.3	78.8	901	94.0	100.0	2,487	63.8	98.5	14,145	47.6	74.0

資料：県道路整備課「道路等の現況調査」

(6) 保健衛生

新市の病院、一般診療所数は、県立中央病院をはじめとして 160 施設。病床数は 2,767 床で島根県全体の 20% を占めており、人口 1,000 人当りでは 18.8 床と県平均を上回っています。

一方、汚水処理人口普及率は 44.3% で県平均を下回っており、ごみ資源化率は 17.1% と、県平均を上回っています。

保健衛生

	病院・一般診療所総数		病院		一般診療所		歯 科	汚水処理 人口普及率 (%)	ごみ 資源化率 (%)
	施設数	病床数(千人当)	施設数	病床数	施設数	病床数			
新 市	160	2,767(18.8)	8	2,477	152	290	54	44.3	17.1
全 県	825	13,602(17.9)	60	12,142	765	1,460	283	46.3	16.4

注) 病院関係：平成 13 年 10 月 1 日現在。汚水処理人口普及率：平成 14 年 3 月末現在。ごみ資源化率：12 年度。
資料：県統計課「平成 13 年島根県統計書」

(7) 福祉

新市の保育所数は、平成13年現在で31施設あり、少子化が進む中で子育て支援策の一環として、延長保育や時間外保育など保育所機能の充実が図られつつあります。

また、老人福祉施設は平成13年現在で27施設、ホームヘルパーは156人となっています。更に、介護予防を含めた生きがい対策施策の充実が求められる中、社会福祉協議会等を中心に生きがいデイサービス事業が進められるとともに、公民館等における生涯学習でも高齢者や熟年層を対象としたメニューが増えつつあります。

福祉施設等

	保育所			老人福祉施設				ホームヘルパー (人)
	保育所数	定員 (人)	専任保育士数 (人)	総数	老人ホーム	在宅介護 支援センター	生活支援 ハウス	
新市 (対全県比)	31 (12%)	2,400 (15%)	2,740 (17%)	27 (12%)	14 (13%)	12 (13%)	1 (7%)	156 (19%)
全県	260	15,910	16,522	218	110	93	15	831

資料：県統計課「平成13年島根県統計書」

(8) 教育・文化

新市の学校教育施設は、平成14年現在で小学校38校、中学校16校、高校9校となっています。いじめ・不登校のような問題行動等や、いわゆる学級崩壊など子どもをめぐる様々な問題が全国的に顕在化しつつある中、全国に先駆けて小中学校へのスクールヘルパーの配置や不登校児ケア施設の開設など「心の教育」が進められています。

社会教育施設は154施設あり、生涯学習体制の充実が求められる中、公民館を中心に各種の教室・講座が開催されています。受講者数も年々増えるなど、生涯にわたって学習に取り組む人々は確実に増加しています。

教育施設・文化財

	幼稚園・学校						社会教育施設					文化財 国指定 県指定
	幼稚園	小学校	中学校	高校	専修校	大学	公民館	図書館	博物館	青少年 婦人教育 施設	体育 施設	
新市	29	38	16	9	2	2	47	4	1	1	101	104
全県	126	286	113	51	22	7	348	28	14	14	683	539

資料：平成15年学校基本調査結果報告書、県統計課「平成13年島根県統計書」

2. 主要指標の見通し

(1) 人口

新市の人口は、国勢調査による人口の過去の傾向を基礎としたコーホート法によって推計すると、下表のように平成17年の約147,000人をピークとし、平成27年には143,500人程度に減少すると予測されます。

(参考)平成7、12年の人口推移とコーホート法による人口推計

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口(人)	146,210	146,960	147,231	146,116	143,469
0～14歳割合(%)	17.0	15.6	14.9	14.4	13.8
15～64歳割合(%)	63.6	62.0	61.4	61.1	59.1
65歳以上割合(%)	19.4	22.4	23.7	24.5	27.1

(2)世帯

世帯数については、今後も一世帯当たりの人員数が減少する核家族化が引き続き進行し、世帯数が増加すると予測されます。

項目	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
一般世帯数(世帯)	37,778	39,019	40,121	42,178	45,469	47,035	49,071	50,784
世帯員(人)	140,822	143,924	144,119	143,976	144,401	144,667	143,572	140,971
1世帯当たり人員(人)	3.7	3.7	3.6	3.4	3.2	3.1	2.9	2.8

(3)産業別就労人口

新市の就業者数は、昭和45年から平成12年の就業者数の推移を基に試算すると、平成17年以降減少に転じ、平成27年には現在より2,200人減少して73,200人程度になると予想されます。

産業別では、第1次産業が現在の約6,500人から平成27年には約3,300人へと半減すると予想され、第2次産業は、平成27年には現在より約7,300人減少して、16,600人程度になると予想されます。一方、第3次産業は、平成27年には現在より約8,300人増加して、53,300人程度になると予想されます。

なお、平成25年にかけて年金支給開始年齢が65歳まで段階的に引き上げられるため、これに伴い退職年齢が引き上げられるものと予想されます。この点を考慮すると、全体としての就業者数の減少幅は、試算値より縮小するものと思われま

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
第1次産業	9,602	13	8,263	11	6,427	9	5,376	7	4,284	6	3,307	5
第2次産業	25,535	34	25,254	33	23,900	32	22,477	30	19,946	27	16,596	23
第3次産業	40,296	53	43,128	56	45,020	59	48,262	63	50,768	67	53,274	72
就業者総数	75,433	100	76,645	100	75,347	100	76,115	100	74,998	100	73,177	100

21世紀 出雲の國づくり計画

平成16年8月 発行

出雲地区合併協議会

島根県出雲市今市町北本町2丁目1番12
TEL(0853)23-1008 FAX(0853)23-1036

21世紀出雲の



國づくり計画

出雲地区合併協議会

出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町